

## 基本目標6

# ゆたかな心を育み 湘南の地域文化を発信するまち

### 1. 生涯学習社会の形成

- 1) 児童・生徒等の生きる力を大切にする教育の推進 …… 91
- 2) 障害児教育の充実 …… 92
- 3) 学校教育施設の整備 …… 93
- 4) 青少年が心豊かに育つ環境づくり …… 94
- 5) 生涯学習ネットワークの構築 …… 95
- 6) 生涯学習機会の拡充と環境づくり …… 96

### 2. 健康で豊かなスポーツライフの確立

- 1) スポーツ環境の充実 …… 97
- 2) 生涯スポーツ活動の推進 …… 98

### 3. 市民文化の創造支援と新たな歴史の継承

- 1) 市民の文化活動の支援 …… 99
- 2) 芸術文化創造の支援 …… 100
- 3) 歴史の継承と文化の創造 …… 101

### 4. 地域に根ざした平和・親善交流の支援

- 1) 平和事業の推進 …… 102
- 2) 国際化・都市親善交流事業の推進 …… 103



# 基本目標 6 ゆたかな心を育み湘南の地域文化を発信するまち

## 1. 生涯学習社会の形成

### 1) 児童・生徒等の生きる力を大切にする教育の推進

#### 施策の目的

自主的精神に満ち、心身ともに健康で、心豊かな活力ある児童生徒などの育成に努めるため、創意ある教育課程の編成、指導方法の工夫改善と指導の充実、開かれた学校づくりをすすめる。

#### 現状と課題

##### [学校教育]

- 一人ひとりの個性を伸ばし生きる力を育むことを学習指導要領はめざしている。これを実現するために、各学校では教育実践を積み重ねることによって創意ある教育課程を創造する必要がある。
- 児童一人ひとりに応じたきめ細かな指導が求められている。
- 児童生徒を取り巻く社会や環境の急激な変化とともに、児童生徒の姿も変わり、さまざまな教育課題が生じており、この対応が求められている。
- 情報化社会に生きる児童生徒の育成をめざし、学習への教育情報機器の活用推進を図るとともに、ネットワーク利用のマナーなどの情報モラルの育成も図る必要がある。
- 生涯学習をみすえた今後の学校のあり方について一層の研究をすすめる必要がある。

##### [教育環境]

- 学校教育などについての教育相談体制を充実する必要がある。
- 幼児期にある子どもの健全育成や教育を推進するため、福祉と教育の連携が求められている。また、幼児教育に対する保護者の負担軽減と職員の資質向上のための補助、並びに施設改善が求められている。
- 学校、家庭が連携をしながら食育の充実を図る必要がある。
- 健康診断による児童生徒の疾病の早期発見、及び学校管理下における事故防止に努める必要がある。
- 児童生徒が安全で安心して学校生活がおくれる教育環境を保つため、児童生徒の安全確保、及び学校の安全管理を図る必要がある。

#### 施策の内容

##### [学校教育]

- 藤沢の学校教育のめざす理念や施策を示した「学校教育ふじさわビジョン」を推進する。
- 社会の変化に対応した創意ある教育課程の編成、実施を図り、一人ひとりの個性を伸ばし、生きる力を育む教育を推進する。
- 教育課程の推進により自ら学び、考え、解決する能力を育成し、また、「総合的な学習の時間」の学習活動を充実する。

- 開かれた学校をめざし、地域や家庭とのつながりを強め、地域の学校としての特色ある学校づくりをすすめる。
- 学校評議員等による外部評価を取り入れた学校評価を推進する。
- 教育情報機器の活用推進により情報の受発信、選択能力、情報活用能力を育成するとともに、情報モラルの育成についても指導の充実を図る。
- 多様な文化を理解し、行動できる国際的な児童生徒を育成するため、外国人講師等による学習を展開し、国際教育の充実を図り、交流を深める。
- 教職員の研究、研修を充実する。

##### [教育環境]

- 児童生徒の教育相談については、専門家を配置し、教育相談体制を充実する。
- 教育に関する史料の収集・整理・保存、並びに教育史編さんを行う。
- 幼稚園などに通う子どもの保護者の負担を軽減し、また、私立幼稚園協会などに対し支援を行う。
- 学校における食環境を整備する。
- 中学校課外活動を充実する。
- 私学助成制度の充実を国、県に働きかける。
- 学校保健と学校安全を充実する。
- 学校・保護者・地域などが連携し、児童生徒の安全確保、及び学校の安全管理を図る。

#### 到達目標

- 個性豊かで、自ら学び、自ら考える児童生徒の育成
- 地域に根ざした特色ある学校づくり
- 小学校児童に対するきめ細かな指導の充実
- 幼児教育の充実
- 児童の心身の健全な発達に向けた学校給食の充実
- 学校保健と学校安全の充実

#### 主要な事業

- 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
- 創意ある教育課程の編成、実施
- 小学校新入生に対するサポート事業の拡充
- 教育情報機器の活用
- 国際教育の推進
- 児童生徒の安全確保、及び学校の安全管理

## 基本目標 6 ゆたかな心を育み湘南の地域文化を発信するまち

### 1. 生涯学習社会の形成

### 2) 障害児教育の充実

#### 施策の目的

障害のある児童生徒の教育を充実するために、一人ひとりの障害特性に応じた多様な教育を推進する。

#### 現状と課題

- 児童生徒の障害が重複化しており、一人ひとりの障害特性に応じた、よりきめ細かな教育を推進する必要がある。
- 従来の特設教育の対象だけでなく、学習障害（LD）\*1、注意欠陥・多動性障害（ADHD）\*2などを含めた障害のある児童生徒に対する特別支援教育の推進体制の整備について、市民ニーズもあり、国の動向にあわせて実施する必要がある。
- 特別支援教育の推進には、福祉・医療機関、大学、NPOなどと連携・協力を図る必要がある。

#### 施策の内容

- 特別指導学級及び通常の学級などに在籍する障害児へのきめ細かな指導を行う。
- 特別指導学級及び通級指導教室のよりよい環境づくりを図る。
- 養護学校や特別指導学級において、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育指導を推進するため、障害児教育スーパーバイザー\*3（医師・臨床心理士）を派遣する。
- 学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）、高機能自閉症など発達障害のある児童生徒の教育的ニーズに応じた教育的支援を行う。
- 学校からの要請に応じて巡回教育相談員、介助員を派遣する。
- 障害のある児童生徒の就学措置に関わる指導、相談を実施する。
- 障害児教育のあり方を検討する。

#### 到達目標

- 一人ひとりの障害特性に応じた教育
- 一人ひとりが自ら学んでいこうとする意欲、及び社会の変化に主体的に対応できる能力を身につけることができる教育

#### 主要な事業

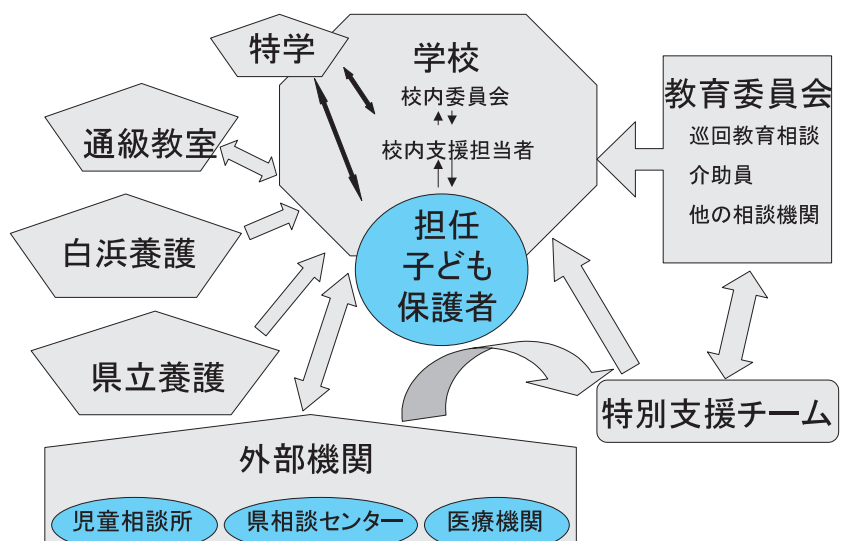
- 障害のある児童生徒に応じた教育の充実
- 養護学校、特別指導学級、ことばの教室の充実
- 障害児教育スーパーバイザー派遣の充実
- 特別支援教育体制の整備
- 巡回教育相談員、介助員派遣の充実

\*1 「学習障害（Learning Disabilities）」…基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。

\*2 「注意欠陥・多動性障害（Attention-Deficit・Hyperactivity-Disorder）」…年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。

\*3 「スーパーバイザー」…一般的には、管理者、監督者、指導者などのことをいう。

#### 特別支援教育体制（案）



資料：学校教育課

## 基本目標 6 ゆたかな心を育み湘南の地域文化を発信するまち

### 1. 生涯学習社会の形成

#### 3) 学校教育施設の整備

##### 施策の目的

小学校35校、中学校19校、養護学校1校の、よりよい教育環境づくりのための整備をすすめる。  
既存施設の質的整備、維持・修繕などを計画的にすすめる。

##### 現状と課題

- 児童生徒の急増期に建設した学校建物の老朽化がすすんでいるため、改築及び大規模改修を行う必要がある。
- 地震の際の児童生徒の安全確保を図り、また、学校が地域の避難施設となるため、学校施設の地震防災対策を図るため、耐震補強を行う必要がある。
- 太陽光などの自然エネルギーの活用を図り、環境や環境教育に配慮した学校施設が求められている。
- 既存建物の維持修繕、整備工事を計画的にすすめる必要がある。
- 小学校と養護学校36校のうち32校が、給食の単独調理方式となっている現在、残る4校についても順次単独校化する必要がある。
- 全校単独校化までの間、西部学校給食合同調理場が老朽化しているため、再整備し、施設の活用を図る必要がある。
- 学校施設は、学校教育以外にも、生涯学習の場や災害時の避難施設となるので、施設のバリアフリー化が求められている。

##### 施策の内容

- 老朽化している校舎の改築や大規模改修工事を年次計画で実施する。
- 校舎棟・体育館棟の安全確保のため、耐震補強工事などを年次計画で実施する。
- 学校施設改修等の際には、環境や環境教育に配慮した施設とする。
- 給食調理室の単独調理方式化をすすめる。
- 学校施設のバリアフリー化対策として、必要に応じてエレベータ、多目的トイレ、スロープなどを設置する。

##### 到達目標

- 校舎・体育施設の整備
- 耐震補強などによる安全確保

##### 主要な事業

- 校舎の改築や大規模改修工事の実施  
御所見小学校・六会中学校ほか
- 校舎棟及び体育館棟の耐震補強工事などの実施
- 特殊教育施設の整備並びにエレベータ、多目的トイレなどの整備



耐震補強された校舎（湘南台小学校）



1. 生涯学習社会の形成

4) 青少年が心豊かに育つ環境づくり

施策の目的

一人ひとりの児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばす学校教育の充実をはじめとして、青少年が社会の変化に主体的に対応でき、広い視野を持って生きていく力を身につけることができる環境づくりに取り組む。

現状と課題

- 急速に変化する社会にあって、自ら考え、行動し、地域社会や国際社会に参画できる能力が求められている。
- 青少年の諸問題に対応するためには、早期発見・早期指導の初期対応が重要であり、また、幅広い解決策を模索していく必要がある。
- 開かれた学校づくりに向け、施設の開放、人材の活用、地域の教育力の発掘、教育支援ネットワークの組織化、NPO等の市民活動団体との連携など、地域との協力をすすめる必要がある。
- 課題を把握し、家庭では保護者と子どもの絆を大切に、地域では連帯感を育むよう努める必要がある。
- 少子化、核家族化、あるいは女性の社会進出のなかで、青少年の多様な体験活動を促進し、放課後児童の健全育成を図る必要がある。
- 青少年団体やNPO等の民間団体との連携・協力を図り、青少年が安全で安心して生活できる健全な社会環境をつくる必要がある。
- 中学生・高校生が自主的な活動ができ、いきいきと交流できる居場所となる青少年活動の場の整備が求められている。

施策の内容

- 「藤沢市青少年対策の基本方針」の施策を推進する。
- 青少年の健全な育成を図り、県などの関係機関、青少年団体、NPO等の民間団体との連携・協力をすすめる。
- 学校・家庭・地域の代表からなる協力者会議による連携事業を一層拡充し、児童生徒の健やかな成長を支援する。
- 児童生徒の健全育成を支援するため、情報交換や研究協議を行い、学校・家庭・地域との連携を図る。
- 地域の教育力を活用する。

- 小・中・養護・高等学校間での交流の活発化を図る。
- 豊かな自然の中でのふれあい体験、宿泊体験、自然体験などを通じて青少年の健全育成を図る。
- 青少年の多様な体験活動の促進及び施設の整備、並びに放課後児童健全育成事業を推進する。

到達目標

- さまざまな活動による、個性豊かで健全な青少年の育成
- 青少年協会関係事業の充実

主要な事業

- 学校・家庭・地域の連携事業の拡充推進
- 青少年の健全育成、青少年施設の充実、放課後児童の健全育成
- (財)藤沢市青少年協会関係事業の推進



学校・家庭・地域が一緒に稲刈り  
(学校・家庭・地域連携推進事業)

1. 生涯学習社会の形成

5) 生涯学習ネットワークの構築

施策の目的

生涯学習の推進にあたり生涯学習情報システムを導入し、各学習施設間のネットワークを構築し、情報の提供、相談に対応する。

生涯学習や図書館サービスへのニーズにこたえる。

現状と課題

- 生涯学習社会の構築をめざし、学習環境整備を図る必要がある。
- 多様化・高度化する市民の学習ニーズに応え、生涯学習機会の充実や推進体制の整備の必要がある。
- 50年余の実績のある公民館について、新たな役割が期待されているとともに、その使用について目的により有料化の検討が求められている。
- 生涯学習社会における市民の豊かなライフスタイルづくりを支援することが求められている。
- 学習意欲の向上を図り、習得した学習成果などが地域社会へ還元されるよう、学習成果の発表の場や活用の機会の提供が求められている。
- 将来の電子図書館化に備える必要がある。
- 身体障害者や高齢者など、情報が得にくい人たちへのサービス体制を整えることが求められている。

到達目標

- 市民の生涯学習ニーズに対応した、生涯学習情報システムの充実
- 図書館サービスの充実

主要な事業

- 生涯学習機会の情報を体系的・総合的に提供し、学習活動や学習成果の社会還元を支援
- 生涯学習情報システムの推進
- 生涯学習大学事業の推進
- ボランティアによる図書館資料の宅配サービス

施策の内容

- 「藤沢市生涯学習推進基本構想・基本計画（生涯学習ふじさわプラン）」の施策を推進する。
- 「いつでも、どこでも、学びたいことが学べる」生涯学習社会を推進する。
- 公民館の使用について有料化する。
- 公民館の新たな役割について検討する。
- 多種多様な学習機会の情報を体系的・総合的に提供し、学習活動や学習成果の社会還元を支援する。
- 生涯学習ボランティア講師の登録と紹介をすすめる。
- 情報・バイオ・テクノロジーなど特色ある研究・教育を行っている大学などの高等教育機関等と連携し、学習機会の提供を図る。
- 民間の力を活用し、学校教育や社会教育で海洋環境学習をすすめる。
- 図書館サービスの充実を図る。
- 情報が得にくい人たちの利用しやすいサービスを検討する。



生涯学習大学「かわせみ学園」

## 基本目標 6 ゆたかな心を育み湘南の地域文化を発信するまち

### 1. 生涯学習社会の形成

#### 6) 生涯学習機会の拡充と環境づくり

##### 施策の目的

一人ひとりが生きがいをもって暮らすために必要な生涯にわたって学べる機会や場の確保をし、多様なニーズにこたえる。

学んだ知識・技術を社会や暮らしに生かすような学習環境づくりや施設整備を行う。

##### 現状と課題

- 多様化・高度化する市民の学習ニーズにこたえ、生涯学習機会の充実や推進体制の整備をすすめることが必要になっている。
- 生涯学習施設の整備が求められている。
- 公民館の環境整備が求められている。
- 市民図書館の環境整備が求められている。
- 学校の持つ設備などの教育機能を地域に開放することが求められている。
- 人と人の確かな人間関係づくりをすすめるための施設整備の必要性がある。

##### 到達目標

- 市民の学習ニーズに応える学習施設の整備

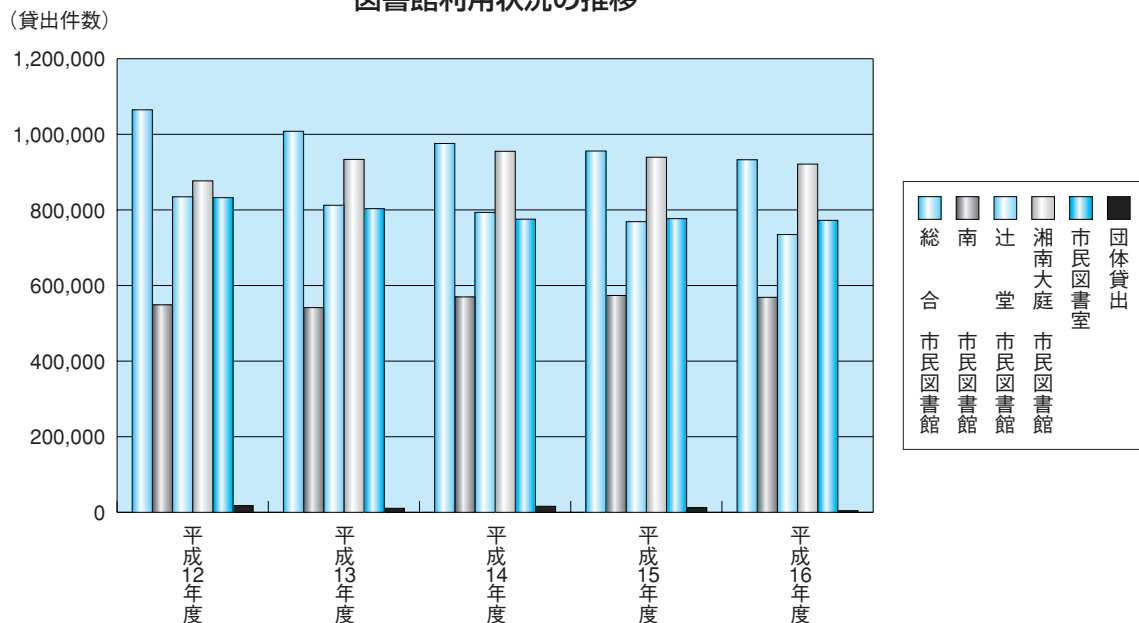
##### 主要な事業

- 生涯学習施設の整備
- 公民館の利用環境の整備

##### 施策の内容

- 生涯学習に必要な情報提供、及び指導者育成などの機能を備えた施設の整備を図る。
- だれもが利用しやすい図書館に整備する。

図書館利用状況の推移



資料：総合市民図書館

## 2. 健康で豊かなスポーツライフの確立

### 1) スポーツ環境の充実

#### 施策の目的

日常生活のなかにスポーツを取り入れることができる生涯スポーツ社会の実現をめざし、市民が地域においてスポーツ・レクリエーション活動を気軽に親しむことのできる環境基盤の整備を図る。

#### 現状と課題

- 既存施設の改修にあたっては、高齢者、障害者に優しいバリアフリー化が求められている。
- スポーツ・レクリエーションゾーンの設置を推進するため、施設の有効活用が求められている。
- スポーツ活動の拠点施設の整備が求められている。
- 企業の理解と協力を得るなかで、所有体育施設を広く市民に開放するなど、民間体育施設の利用の拡大が求められている。

#### 到達目標

- 市民が日常生活の中にスポーツを豊かに取り入れることができる生涯スポーツ社会の実現のため、スポーツに親しめる場の整備

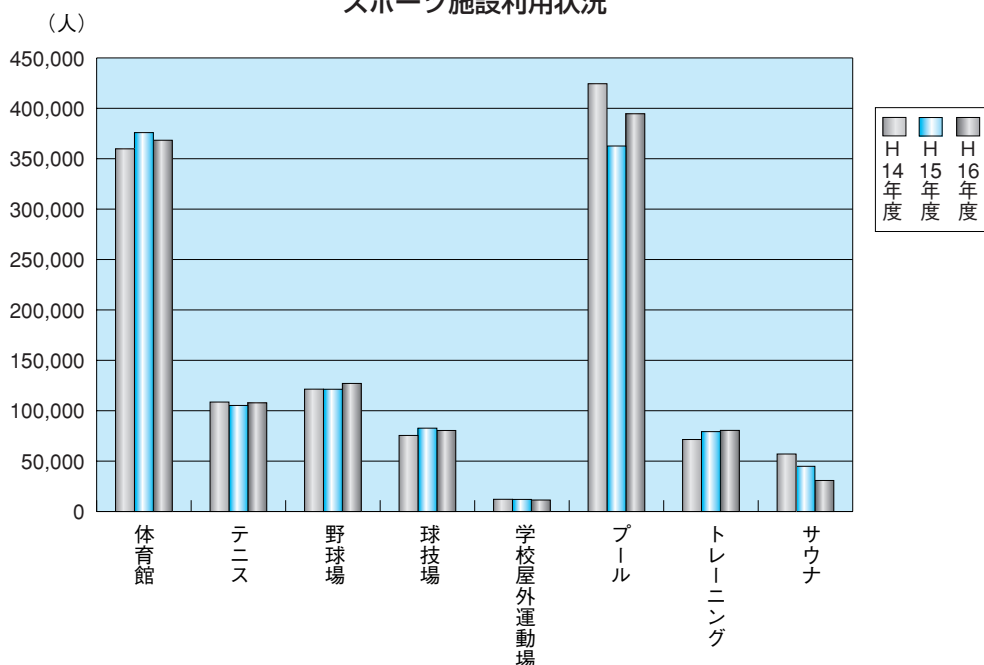
#### 主要な事業

- スポーツ施設の充実、有効活用、場の整備
- 拠点スポーツ施設の整備促進

#### 施策の内容

- 公共スポーツ施設の充実と有効活用を図る。
- 学校体育施設の開放を拡充する。
- 民間体育施設の有効利用を図る。
- 自然を生かしたスポーツ・レクリエーション活動の場づくりをすすめる。

スポーツ施設利用状況



資料：スポーツ課



2. 健康で豊かなスポーツライフの確立

2) 生涯スポーツ活動の推進

施策の目的

市民一人ひとりがスポーツライフのあり方を自覚し、自由時間を有効に活用し、主体的にスポーツに親しむ生活や習慣を形成することをめざす。

現状と課題

- 変化の激しい社会の中で、ライフステージにあったスポーツ・レクリエーション活動の展開を通じ、心身両面にわたる健康づくりや仲間づくりが必要とされている。
- 健康とスポーツに関する市民意識の向上をすすめるため、予防や健康の維持・増進を図る必要がある。
- 活動を推進するための指導者養成や情報の提供、団体の育成が必要である。
- 各スポーツ団体は、主体的・自立的な組織運営ができるよう求められている。
- 少子化がすすむなかで、学校を単位としたスポーツ活動から地域を中心としたスポーツ活動への動きが強まっている。

施策の内容

- 藤沢市の生涯スポーツ振興の指針と施策の方向を示した「藤沢市スポーツ振興基本計画（ふじさわスポーツ元気プラン）」を推進する。
- 生涯にわたるスポーツライフ施策の推進を図る。
- 指導者の育成と資質の向上を図る。
- 総合型地域スポーツクラブの設置を図る。
- スポーツ・レクリエーション関係団体の育成強化を図るとともに団体間のネットワーク化と交流を推進する。
- 効率的な施設利用や効果的な事業を展開する。
- スポーツ施設の空き情報の提供や予約、講習会などに関する情報を提供する。
- 各年齢層に応じたスポーツ・レクリエーションプログラムを研究し、生涯スポーツ活動を推進する。特に、高齢者が健康でいきいきと暮らせるよう、高齢者を対象としたスポーツ・レクリエーション事業の充実を図る。
- 障害者などのスポーツ・レクリエーション活動をささえるボランティア活動を支援する。
- 市民とスポーツ関係団体との連携と協働により、市民を主体としたきめ細かなサービスの向上とスポーツ活動の推進を図る。

到達目標

- スポーツによる、心身両面にわたる健全な発達

主要な事業

- スポーツ振興策の充実
- スポーツ・レクリエーションに関する情報提供の推進
- スポーツボランティア活動の支援
- 指導者及び団体の育成
- (財) 藤沢市スポーツ振興財団関係事業の推進



瀬古利彦ランニングクリニック(スポーツ振興財団事業 2004年11月)

### 3. 市民文化の創造支援と新たな歴史の継承

#### 1) 市民の文化活動の支援

##### 施策の目的

個性豊かな地域の市民文化活動の活発化を図る。

##### 現状と課題

- 市民まつりは、企画・運営及び事業主体の事務局を実行委員会に移管したことにより、市民主体のまつりとして定着することが課題である。
- 地域では各公民館を拠点として、各種の文化活動を行っており、いきいきとした地域文化を創造している。そのための活動場所の確保が必要である。
- 市民の文化活動は、多面的にかつ活発に行われており、それらを支援していくことが必要である。
- 民俗芸能や伝統行事などの地域の文化が見直され、保存、伝承活動が盛んになっている。

##### 到達目標

- 市民文化の創造

##### 主要な事業

- 藤沢市民まつりの支援
- 公民館まつりの支援
- 地域文化活動の多面的展開の検討

##### 施策の内容

- 市民の文化活動を支援する。
- 世代間の交流をすすめ、個性ある地域文化活動を支援する。



藤沢市民まつり（2004年）

## 基本目標 6 ゆたかな心を育み湘南の地域文化を発信するまち

### 3. 市民文化の創造支援と新たな歴史の継承

#### 2) 芸術文化創造の支援

##### 施策の目的

市民の手による個性豊かな芸術文化を創造する。

##### 現状と課題

- 市民の主体的、日常的な芸術文化活動を支援し、成果の発表交流の機会を提供する必要がある。
- 1968年（昭和43年）に開館した市民会館は、建物、機械、設備の老朽化が目立ってきている。また、各種演奏会や演劇が大型化している。
- 1989年（平成元年）に開館した湘南台文化センターは、建物本体などの維持修繕が必要となっている。

##### 施策の内容

- 芸術文化の創造と振興を図る。
- 芸術文化活動の拠点施設の整備・充実を図る。
- 市民ギャラリーの運用の充実を図る。

##### 到達目標

- 芸術文化の創造

##### 主要な事業

- 市民の芸術文化の発表や鑑賞
- 藤沢市民オペラ公演の支援
- 音楽・文学・美術活動などへの創造活動の支援
- 企画展や30日美術館などの市民ギャラリー事業の推進
- 拠点文化施設の整備
- (財) 藤沢市芸術文化振興財団関係事業の推進



藤沢市民オペラ「地獄のオルフェ」（2004年11月公演）



## 基本目標6 ゆたかな心を育み湘南の地域文化を発信するまち

### 3. 市民文化の創造支援と新たな歴史の継承

#### 3) 歴史の継承と文化の創造

##### 施策の目的

藤沢に生きた人々の歴史と、そこから育まれた文化を探求し継承するとともに、藤沢の歴史・文化財に関する情報を提供し、心の豊かさを養い育み市民による新しい文化の創造をめざす。

##### 現状と課題

- 国・県・市指定の文化財のほか、多くの有形・無形・埋蔵文化財などが所在している。これらの文化財の保存・管理をすすめ、併せて、文化財総合調査や文化財愛護思想の普及啓発などをすすめる必要がある。
- 市民的財産でもある歴史的建造物や芸術関係資料などの貴重な歴史・文化資源の消滅や散逸を防ぎ、保存や公開などが求められている。
- 貴重な市民共有の財産である博物館資料を市民に公開活用する必要がある。
- 大量の歴史資料が蓄積されるとともに、収集資料等の劣化が危惧される。
- 文書館資料の保存スペースの確保が必要である。
- 文書館資料の情報検索システムを構築し、閲覧利用サービスの充実が必要である。
- 歴史的公文書の公開に向けて、整理・内容検討を実施する必要がある。
- 藤沢市史の昭和期前後を中心に改訂補完する必要がある。

##### 施策の内容

- 歴史的文化資料などを適切に保存し公開する。
- 藤沢の歴史並びに博物館資料に関する調査・研究をすすめるとともに、資料収集を図る。
- 高度情報化社会の進展をふまえ、インターネットを活用した「電子博物館みゆネットふじさわ」により、博物館の資料などの公開活用を充実する。
- 市史の編さんをすすめる。
- 文書館資料のデータベース化をすすめ、資料情報提供システムの構築をすすめる。

##### 到達目標

- 郷土の歴史や文化遺産の保護、継承
- 藤沢市史の全時代の編さん
- 保存文書の円滑な閲覧利用

##### 主要な事業

- 文化財の保護、保存、活用
- 博物館資料の収集、整理、保管、公開活用
- 博物館収蔵施設の整備
- 藤沢市史編さん



竪穴住居内遺物出土状態  
(弥生時代末～古墳時代初頭・大庭城址公園内遺跡)



文書館収蔵資料



## 4. 地域に根ざした平和・親善交流の支援

### 1) 平和事業の推進

#### 施策の目的

核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の大切さと尊さを次代に伝える。また、市民が主体となって取り組んでいる草の根平和運動などの活動を援助し、平和運動を推進する。

県内の基地（とりわけ遊休基地）の早期返還、基地周辺の騒音対策など、基地をめぐる諸問題の解決に向け、神奈川県基地関係県市連絡協議会や厚木基地騒音対策協議会を通じて対策を図る。

#### 現状と課題

- 基地に関しては、市単独では国、米軍に対し限界があるため、神奈川県基地関係県市連絡協議会や厚木基地騒音対策協議会の一員として、県や関係市との連携の中で課題の解決を図る必要がある。
- 国の外交・防衛に関わる問題であるが、継続的な取り組みが求められている。

#### 施策の内容

- 平和運動の推進を図る。
- 「平和の輪をひろげる実行委員会」などの、草の根平和運動を支援する。
- 県基地関係県市連絡協議会で基地（とりわけ遊休基地）の早期返還要求を促進する。
- 航空機騒音解消に向けた対策を推進する。

#### 到達目標

- 核兵器の廃絶と恒久平和
- 県内基地（とりわけ遊休基地）の返還及び航空機騒音の解消

#### 主要な事業

- 平和に関する講演会や学習フォーラムによる啓発活動
- 「平和の輪をひろげる実行委員会」への支援
- 航空機騒音の解消



被爆者の方による体験講話会

## 基本目標6 ゆたかな心を育み湘南の地域文化を発信するまち

### 4. 地域に根ざした平和・親善交流の支援

#### 2) 国際化・都市親善交流事業の推進

##### 施策の目的

国内外の諸都市と自治体間、市民間における産業、文化、スポーツ、学術など幅広い交流を通して、相互理解と友好親善に努め、国際平和に貢献する。

##### 現状と課題

- 2002年（平成14年）11月に新たに韓国の保寧市と姉妹都市提携を結びさらに交流の輪が広がった。高度情報化・ボーダーレス化の中、市民レベルの交流によって、市民が国際感覚を身につけることが重要である。また、2000年10月にマイアミビーチ市との友好協会が設立されたことに伴い、本市には友好・姉妹都市のある4カ国すべての国との友好協会が設置され市民間の交流に寄与している。
- 市民を取り巻く環境が国際化しており、国際化への理解を深め、市民レベルでの交流を促進していくことが必要である。
- 市内在住の外国人の日常生活を支援するため、近隣との交流促進や市政情報などの翻訳をさらにすすめる必要がある。

##### 施策の内容

- 友好提携先をはじめとする世界の自治体との市民レベルでの交流・協力をさらに推進する。
- 「内なる国際化事業」として、市内在住の外国人の日常生活を支援するために、市政情報などの外国語への翻訳等を推進する。

##### 到達目標

- 友好・姉妹都市（4都市）を中心とした国際交流事業の推進と、市内在住外国人の生活環境の向上

##### 主要な事業

- 友好・姉妹都市を中心にした諸外国都市との親善
- 市政情報などの外国語への翻訳の推進



韓国保寧市からの研修生の受け入れ